

# UTプロジェクト：

## 産学官連携による伝統工芸結城紬の振興策の試み

### —新商品開発・販路開拓展開—

#### 事業の概要

##### （１） 第3回結城紬素材を活かした日用品コンテスト

平成21年度、平成22年度に施行した「結城紬素材を活かした日用品コンテスト」を平成23年度も実施する。茨城県の伝統工芸である結城紬について筑波大学の学生たちをはじめ、市民に身近に接してもらい、結城紬産業活性化に資することを目的とする。結城紬の製作工程から出る端切れ（反物から着物を作った後に残った余り布）・きりすね（反物を織るごとに、織機の構造上織ることができずに残る糸）を結城紬業界から無償提供してもらい、これを用いた日用品のアイデアを募集し、各素材を一定のサイズ・量を提供して実際に作品を製作してもらう。これにより、伝統的なテキスタイルの技術、文化を活かすことを学んでもらい、結城紬を広く紹介する

##### ＜実施内容＞

- \*PR・広告 5月10日（火）～6月30日（木）
- \*一次審査デザイン受付・審査会 6月14日（火）～7月29日（金） 計49作品  
（端切れ35作品、きりすね14作品）の応募あり。審査会は8月5日（金）全作品通過。
- \*端切れ及び／又はきりすね、糊抜き用酵素の提供 8月上旬
- \*二次審査作品受付・審査会 8月8日（月）～9月26日（月） 計42作品応募  
（端切れ31作品、きりすね11作品）
- \*入選作品 42作品中、計19作品が入選。
- \*作品展示及び表彰式
  - 第1回展示：筑波大学学園祭（10月8日（土）～10日（月））において筑波大学学生会館にて学内研究企画として作品展示。
  - 第2回展示：10月29日（土）～11月2日（水）において筑波銀行本部ビル2階ギャラリーにて展示。  
10月29日（土）の午後にはギャラリー隣のロビーで表彰式が行われた。
  - 第3回展示：11月4日（金）～23日（水）結城市SHIMAYAにて展示。



##### \*入選作品写真（一部）

#### 大賞：栗原由紀子

#### 「ティータイムセット～楽しいお茶のひととき～」



#### 新分野開拓研究会賞：雨谷初美

#### 「ネームホルダー」



##### （２）筑波大学校章模様の織物製作プロジェクト

##### 筑波大学校章柄入り織物作成プロジェクトについて

##### ＜プロジェクトの目的＞

紫峰会、茨城県工業技術センター繊維工業指導所の協力を得て、筑波大学校章を活かしたデザインの結城紬の織物を試作により、結城紬商品の新たな可能性を探る。  
将来、大学グッズとして定期的に販売することも視野に入れる。

##### ＜計画実施スケジュール＞

平成23年3月～現在：織物製作中（茨城県工業技術センター繊維工業指導所担当）

